



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合っしてほしいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。
よろしくお願いいたします。

★資料名

「かぼちゃのつる」

★今回の道徳の授業のねらい

周囲の人と自分のことを考え、わがままをしないで生活しようとする心情を育てます。

★お話のあらすじと内容

友達の忠告を聞かず、また、他人の迷惑も考えずに勝手につるを伸ばし、わがままを通したかぼちゃ。最後は、トラックにつるを踏まれて、つるが切れ痛い思いをするというお話です。わがままについて話し合い、節度ある生活について考えました。

子供がわがままをしないで生活するためには、かなりの自制心が必要です。集団の中で、それぞれが気持ちよく生活するために、自制心の大切さを自覚できるようにします。

★子どもたちの授業の振り返り

自分がわがまましたり、やりすぎてしまったりしたことについて振り返りました。

- ・ YouTube を見過ぎてしまった。
- ・ ゲームの時間を守れなかった。・ ゲームをもうやりすぎないようにしよう。
- ・ お風呂に入るのがいやでわがままを言った。
- ・ マラソン練習を頑張って走ればよかった。
- ・ 物を壊したとき逃げてしまったから、逃げないで謝ればよかった。
- ・ ママの言う事を聞かないで怪我してしまった。

★家庭で話し合っしてほしいこと

この時期の子どもは、友達も多くなり、相手を思いやる行動もできるようになってきていますが、まだ自己中心的でわがままな行動も多いと思われます。また、人の忠告を聞かずに失敗することも経験します。このような子どもに、かぼちゃの行動や気持ちを考えたり、自分の生活を振り返ったりすることによって、わがままをしないで生活することの大切さを考えさせました。

今、規範意識の低下が社会の問題になっています。子どもを思う親の心で、幼少期の子どもを甘やかし過ぎず、ときには厳しい態度で向き合うことも大切です。日ごろ、お子さんと向き合い、どんなことをお子さんが考えているかなど把握され、正しい行動について話し合っみてください。